

報道関係各位

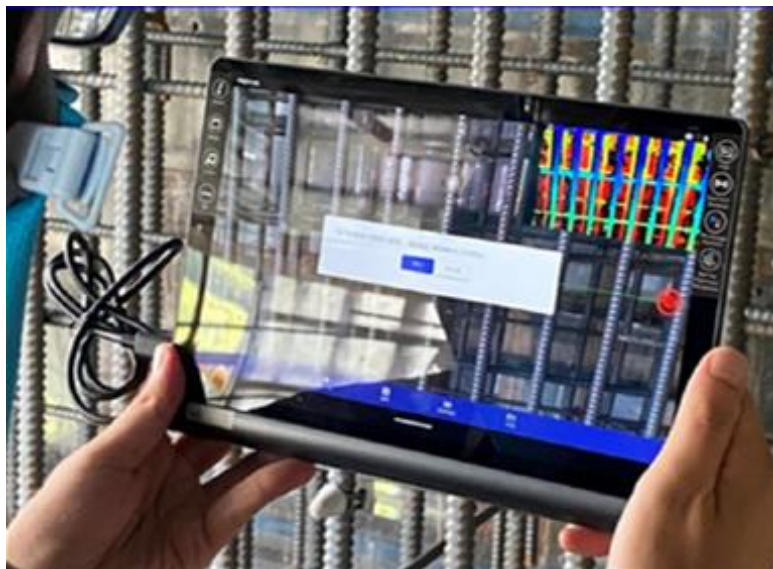
2025年2月19日

デジタル技術で建設現場の効率化と省人化を実現

「GeoMation AI 鉄筋出来形自動検測システム」レンタル開始

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、新たに AI 機能が搭載され、鉄筋の配筋検査を大幅に効率化できる「GeoMation AI 鉄筋出来形自動検測システム」のレンタルを 2025 年 2 月 19 日(水)から開始いたします。



【GeoMation AI 鉄筋出来形自動検測システム】

現在、建設業界は 2025 年問題^{※1}に直面し、現場の省力化・省人化が喫緊の課題となっています。特に鉄筋出来形検測は、従来から効率化が求められていた業務の一つです。国土交通省が令和 5 年 7 月に『デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測の実施要領(案)』を策定し、これまでの発注者立会いによる段階確認に代わり、画像・映像解析等での計測が可能となりました。

「GeoMation AI 鉄筋出来形自動検測システム」は、デプスカメラ^{※2}を用いて配筋状況を 3 次元的に把握し、鉄筋の本数・鉄筋ピッチを自動的に計測するとともに、発注者へ計測状況や結果をリアルタイムに共有できるシステムです。今回新たに AI 機能を搭載することで、ダブル配筋^{※3}の計測や、従来は光の影響を受けやすく計測できなかった直射日光や逆光下での計測ができるようになりました。さらに、計測結果をクラウド帳票生成サービスと連携させることで、面倒な帳票作成作業も自動化し、出来形検測にかかる時間を約 1/3 に短縮、作業工数を大幅に削減します。また、計測情報名や工種、測点、備考情報からのワード検索機能も備え、データ管理の利便性も高めました。

アクティオは今後も「レンタル」のノウハウを活かし、省人化・省力化を実現するサービスや製品を提供していきます。

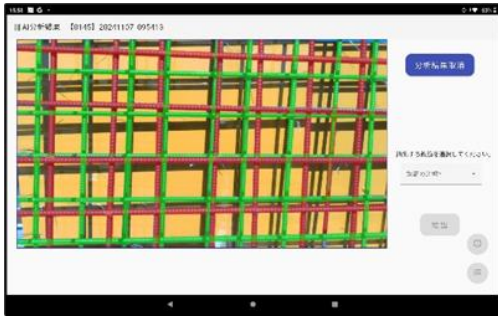
※1 「団塊の世代」が 75 歳以上となることで、超高齢化社会になることから生じる諸問題。その中でも労働力人口の減少が課題となっている

※2 奥行の情報を取得する深度センサーを内蔵したカメラ

※3 2 本の鉄筋を並列に配置する方法。鉄筋を縦方向に 2 本配置するため強度が増す

■「GeoMation AI 鉄筋出来形自動検測システム」特長

- ①AI 機能で鉄筋を自動で認識し、鉄筋の本数・間隔などを自動でリアルタイムに計測
- ②デプスカメラと Android タブレットを利用することで、撮影・持ち運びが楽に
- ③特許を取得した独自技術で配筋状況を 3 次的に把握可能
- ④面倒な帳票作成も自動化、撮影画像と計測結果をクラウド帳票生成サービスへ連携可能
- ⑤AI 機能が上下段の鉄筋を抽出し、ダブル配筋の計測が可能に
- ⑥AI 機能により直射日光や逆光でも計測可能に
- ⑦計測情報名・工種・測点・備考情報からワード検索が可能で、データ管理の利便性を向上



【ダブル配筋も計測可能】



【逆光でも計測可能】

■構成品



【Android タブレット】



【デプスカメラ】



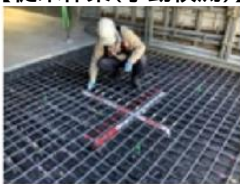
【USB ケーブル】



【ストラップ付保護カバー】

■作業工程

【従来作業(手動検測)】



準備・計測
(20分)



立会検査
(10分)



片付け
(10分)



調書作成
(20分)

【GeoMation AI 鉄筋出来形自動検測システム】



作業なし

準備
(0分)



計測・立会
(15分)



作業なし

片付け
(0分)



調書作成
(5分)



■NETIS 登録番号:KT-230214-A

■スペック

呼称	鉄筋出来形自動検測システム	
型式	GeoMation	
測定項目	鉄筋	
構成品	Android タブレット	NEC LAVIE T1195/BAS
	デブスカメラ	インテル®RealSense デブスカメラ D435
	USB ケーブル	Anker USB-C&USB-C
搭載機能	鉄筋ピッチ計測機能、継手長計測機能、かぶり間隔計測機能	
寸法(L×W×H)	(mm)	258.4×163×7.5
質量	Android タブレット (g)	約 490
	デブスカメラ (g)	約 100
	USB ケーブル (g)	約 40

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専

門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本商品に関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 通信 ICT 事業部

TEL:03-6666-2329